

第四十七回宗像歌会

平成二十九年三月十八日(土)

自由詠

たこ焼きパーティー
タコにねぎ ひじきにチーズ
色んな具を入れて
最後は丸くなる
人生もこれでいきたいなあ

松本 晴美



方言と標準語が

交じった温かい

懐かしさが飛び交う

同期会

顔の向こうに中学時代

杉本 明美

さて！

どこからダイエットしよう

お金以外の財布の中身

パソコンの中、家の中

果ては 自分の皮下脂肪

にいだのこ

縁側カフェ

お茶請けは

筍の煮物 よもぎ大福 里芋の唐揚げ

笑顔の輪

一足先に春が来た

大槻 幸子



題詠

『 欠片^{かけら}・一片^{いっぺん} 』

思いやりの欠片もないのか

考える力もないのか

原発被害者への

いじめ

明日は我が身かもしれないのに

高原 美智子



誰か拾った人は

いませんか？

昔 私が落とした

幸せの

かけらを

松本 晴美

誠意の一片かたひらもない言葉は
ほごほごに
やさしくなれば
老いの峠道
少しは楽かも

玉田 久美子

食べ過ぎ
買い過ぎ
溜め込み過ぎ
断捨離の欠片も
見られない私・・・

にいだ のこ

日本にはあった
敵に塩を送る心が
ほんのかからでいい
各国首脳の心にもあれば
終末時計二分半

山本 佳代子

自分で
なくしたものだから
出会えばわかるはず
こころの
かけら



岡本 まち子

手のひらの温もり
氷の
かけらを
じんわり
とかす



杉本 明美

